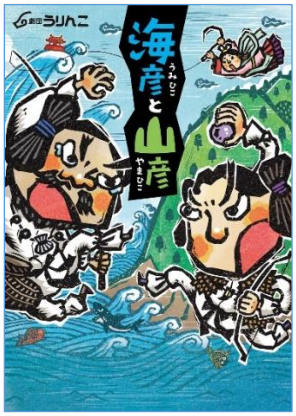
「海彦（うみひこ）と山彦（やまひこ）」　劇団うりんこ



これは、海彦と山彦のケンカと仲直りのお話です。私たちも、時々ケンカをします。ケンカをしている時は、相手より自分の方が正しいと思っています。相手の言い分を理解したり、相手の気持ちを想像したりすることができなくなっています。素直に謝ることはむずかしいです。でも私たちは、謝れない自分を変えることができます。相手を許せなかった自分を変えることができます。そして、ケンカをやめた時、本当に相手の言い分を聞き、相手の気持ちを思いやることができるようになります。謝りたいのに謝れない山彦と、許したいのに許せない海彦。どうしてこうなってしまうんだろうと問いかけ合う二人の姿は、分かり合おうとすることの大切さを伝えてくれます。

ものがたり

むかしむかし二人の兄弟がいた。兄は海彦、海で釣りをするのが仕事。弟は山彦、山で狩りをするのが仕事。ところが、山彦は海彦の仕事がうらやましくてしかたがない。

一日だけの約束で、仕事を取りかえてもらった山彦。しかし、山彦は魚も釣れず、あろうことか、海彦の大事な釣り針を失くしてしまった。

それを知った海彦はカンカンに怒り、山彦を家から追い出してしまう。

竜宮城で釣り針を見つけ帰ってきた山彦だが、海彦の怒りは収まらない。

お互いの気持ちがすれ違い、どうしても許しあえない海彦と山彦。とうとう、二人は武器を手にしてしまう。その時…!!。

＊このお話は、古事記「海彦山彦」を元に創作しました。

劇団「うりんこ」の創立は 1973 年。8 人の若者が集まって創った劇団です。以来、「うりんこ」は、“猪のこども”の通りに元気に走り続けてきました。今では活動も広がり、愛知・岐阜・三重の東海三県での学校公演だけでなく、おやこ（こども）劇場、教育委員会、児童館の仕事などで全国的に公演をするようになりました。海外公演など国際的な活動も広がっています。私たちは、幼稚園・保育園から高校までの若者を中心に様々な年齢層に向けて、多様なお芝居を演じています。

❤ Happy Birthday　９／25‥近藤 惇暉君